

共同研究プロジェクト

地域と結ぶ癒しの技の研究開発

活動報告

馬場 雄司・濱野 清志

今年度の活動は、吉福伸逸氏による「倍音声明」のワークショップを皮切りに様々な試みがなされた。まず、順をおってそれらを記すことにしたい。

4月21日、22日に貴船の右源太で開かれた吉福伸逸氏による「倍音声明ワークショップ」では、声を出すことを通じて身体の深層にふれていく、そして、身体の深層が声の響きわたる空間に拡がって、その場を共有する人々が空気の振動を通じてつながり合い、支え合う、そういった場を生み出すことを体験した。倍音声明は、「声明」という表現からその出自がなんらかの仏教の実践にあると思われがちだが、これは実は1970年代にいきなり広がりを見せたトランスパーソナル心理学の展開の中で、吉福伸逸氏とジル・パース氏が実験的に試みながら構成していった現代的なワークである。トランスパーソナル系のワークの一端に触れ、それが治療という枠組みとは別に、自己啓発的であり、グループ活動を活性化する力を持っていることを学んだ。

5月26日、中健次郎氏をお招きしての気功講習会では、講習の最後に時間をいただき、中氏の気功実践と地域づくりのエッセンスについてお聞きした。その内容については、人間学研究所紀要に報告している。

それを受けて2月4～6日、馬場、濱野があらためて実際に中先生の運営されている湯河原のかめへん村《健真観》を訪ね、より良い暮らしを実現するための人的要因の育成と物的、環境的要素の洗練について見学し、同時に、氏の人間のあるべき姿についての考えをお伺いするこ

とができた。気功では、自己の身体に気を用いて目を向けていくことが、ふだん気づかずにやりすごしている微細な反応に目を向けることになるのであって、そういった実践を通して、身体のみならず、この世界に見えないけれども流れている精妙なものを感じ取る力を養っていくことが大切だということを述べられたことが印象的であった。また、中氏の案内で湯河原の「気場」を訪れた。

1月27日～30日は、永澤哲が3.11以降、各地で広がる安全な出産、子育てを行えるスペースを作り出す試みの中心の一つである沖縄久高島を訪れ、小田まゆみ氏と助産師グループによる、有機農業、伝統的生活様式を土台にした空間を作るためのプロジェクト計画を調査、沖縄県北部に移住したアーティスト、ヒーラーによる、有機農業を土台とする教育、子育てのゆるやかなネットワークの現状、意識について調査を行った。また、小田まゆみ氏らと「倍音声明」のワークショップを行い、好評を博した。

3月1～3日、大分県で有機農業を営みつつ古楽器の復元・研究を行うカテリーナ古楽器研究所の松本公博氏らにより、「かてりいな森から生まれる木（古）楽器展」を本学指月ホールで行った。古楽器の展示とともに、2日には、濱野を中心に、「倍音声明」の実践を行った。4月の吉福氏のワークショップと異なり、自然に出せる静かな声を出し続けることで、静かに倍音が響き出すという発見があった。ただ参加者はミュージシャンが多く、調和的な音のピッチが出やすいため、この場合は「整数次倍音」の心地よさの可能性もあり、より一般対象の場合、

「非整数次倍音」によってコスモスが一気にカオスに開かれる解放の心地よさである可能性が示唆された。

展示された古楽器は、木や竹など自然素材を用いた手作り楽器であり、そこには「自然を見直し、生活を見直す」というメッセージがこめられている。

以上の活動は、それぞれが完結した目的をもっているが、共通の問題意識に貫かれている。一つは、4月に吉福氏と行った倍音声明とその活用の可能性である。「倍音声明」は、永澤の沖縄出張や、古楽器展でも行い、メンバーの違いなどから様々な発見があり、今後の倍音声明の活用を考える上で有益であった。更に、倍音声明の「治療という枠組みとは別に、自己啓発的であり、グループ活動を活性化する力」をもたらすという点は、中健次郎氏のいう「自己の身体に気を用いて目を向け、ふだん気づかない

微細な反応に目を向けること」や松本公博氏のいう「自然素材の楽器に、生活を見直すメッセージをよみとること」にも通じるものである。中氏の案内で訪れた湯河原の「気場」ような場所は、松本氏（大分）や小田氏（沖縄）の有機農業・伝統的生活様式を見直す動きとともに、現代社会に重要なメッセージを伝えるものと考えられる。

また、前プロジェクト「福祉に生かす代替療法」の活動の一環として始めた、介護老人保健施設「第二京しみず」デイサービスでの、濱野・馬場による、気功と音楽とを組み合わせたレクリエーションも随時、継続された。こうした地域での試みを土台とし、今年度の様々な活動から学んだ知見をもとに、次年度以降は、地域における「治療という枠組」とは異なるセルフケアの場づくりを考えていきたい。